

## 令和5年度 入学式 式辞

本日、ここに大阪府立登美丘高等学校令和5年度入学式を挙げていたしまして、公私ご多用の中、ご来賓の皆様、並びに多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼を申し上げます。

これは入学式の決まり文句なのですが、入学式に、来賓の皆様にお越しいただいたのも、また保護者の方の人数に制限を設けることなく、さらに生徒の皆さんにマスク着用を依頼しなかったのも実に4年ぶりとなります。感無量です。また本日の入学式の様子は、所用でお越しになれなかった保護者の方のに向けてライブ配信を行っています。アーカイブもしばらく流しますので、おうちに帰ってご覧ください。ダイジェスト版もホームページに掲載予定です。登美丘高校では、学校の様子をできるだけ多く、ホームページに掲載していきます。楽しみにしていただきたいですし、ご理解のほどよろしくお祈りいたします。

さて、先ほど入学を許可された280名の新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。

皆さん、受験勉強は大変でしたか？おかげさまで登美丘高校は、受験倍率は1.33倍、多くの方が行きたいと思ってくれたと喜んでおります。ありがとうございました。見てみると合格と不合格の差は限りなく小さく、わずかの差でした。昨年度はワールドカップで三苫選手の1mmの差が話題になりましたし、先日のWBCでも、源田選手の1mmと言われたプレーがありました。皆さんも、その1mmの差を乗り越えて、本日ここに座っています。

2年半後の次のステップへの挑戦でも、その後の人生でも、合否の分かれ目は必ず出てきます。挑戦の時は、今のことを思い出して、最後の最後まで頑張ってもらいたいと思います。

そしてもう一つよく知っていただきたいことがあります。自己申告についてです。今回の入試では、ボーダーの生徒に対して、自己申告書を読んで、アドミッションポリシーに沿った生徒を選抜することになっています。自己申告書もまた、受験合否の大切な要素です。高校入試では合否ライン当落上の2割の自己申告書を見るにとどまっていますが、これが、例えば大学入試では、総合型選抜といって、国公立を含む500を超える大学が自己申告書を吟味する入試制度を取り入れていますし、企業に就職する就職試験に至っては、自己申告書の内容と面接の結果が9割ほどの割合になります。それはなぜか。いい人に入社してほしいからだし、いい人と働きたいからです。テストの点数よりも人間の内容を知りたいからです。みなさん、皆さんが知っている大人、例えば中学校の先生を考えてみましょう。先生は教員資格がいますのでみんな大学を出ていて、その大学の偏差値は様々です。だけどみなさんにとって「いい先生とそうでない先生」、「力のある先生とない先

生」は、大学の偏差値とは違いますよね、偏差値の高い大学を出ている先生は、いい先生で、偏差値の低い大学の先生は先生として力がない・・・訳ではないということを、皆さんは肌で感じていると思います。逆にいうと同じ学校を出ていても、一緒にいたい素敵な先生もいれば、なんだこの先生、という人もいます。世の中の人もそうか？と家に帰って保護者の方に聞いてみてください。笑って頷いてくれると思います。そしてその「いい人」というのはどういう人なのか、どうしたらわかるのか。それが自己申告書です。だから皆さんは、「社会で活躍するいい人」になるために、これからの3年間、学業と並行して、自己申告の中身を磨き上げる必要があります。高校では新学習指導要領のポイントに「人生を切り拓いていくために求められる力を明確化し、育んでいく」という文言があります。まさに自己申告の中に、その力が現れます。

毎年新生の皆さん全員の自己申告書をじっくりと拝見します。中学の経験で得たこと、高校で頑張りたいこと、将来の夢、みな一生懸命に書いてくれていました。時間があれば全て紹介したいくらい、素敵な文章であふれていました。

皆さん ぜひ登美丘高校で、勉強に、行事に、部活動に、様々なことに挑戦し、さらに力をつけてください、そして一生の友達を見つけてください。素敵な人がこの中にはたくさんいます。

自己申告書に書くべき、世の中を切り拓く力、その力を登美丘高校では、育成する生徒像として明文化しています。

「Challenge and Hospitality」 「登美高生は強いから優しい」です。

挑戦する強さと人を包み込む優しさを併せ持つことができれば、皆さんが自己申告で書かれた夢を実現しやすくなり、人生を切り拓くことができると考えています。その力をつけていきましょう。

そこで、入学式ではありますが、みなさんに依頼がありまして。みなさんというのは、生徒の皆さんもそうですが、保護者のみなさんにもです。

実は、今年の3月30日に、関西TVで放映されたアンビリバーボーという番組で、「サバ缶を宇宙に飛ばした高校生SP」というものがありました。私はその番組を見ていなかったのですが、話題になりまして、見てみたら、全身を撃ち抜かれるくらい感動したんです。高校生が、探究の時間、20年間、バトンをつないで研究して、ついにはJAXAの宇宙食に認証され、実際に宇宙で宇宙飛行士が食べてくれたという物語なのですが、先ほど申しました三苦の1mmではないですが、あきらめずに物事を進めていけば、ついには宇宙にも届くという物語でした。ぜひ、生徒や保護者の皆さんにも見て、感じていただきたいなと思いました。その動画を、生徒の皆さんには、今後入っていただくグーグルクラスルームに流しますので、GWまでに見てもらって、一言でもいいのでそこに感想を書いて欲しいのです。また保護者の皆様にも、今後保護者連絡メールに加入いただきますが、

そこに流しますので、出来ればご覧いただき、お子さんとご家庭で話していただきたいのです。

ご覧いただき、それを他人ごとではなく、自分事として考えられるようになれば、もう、これからの人生は素晴らしいものになる事間違いなしです。午前中の始業式で、2年生・3年生も伝えました。2時間スペシャルなので長いのですが、話題の映画を見に行っただと思って、ご覧下さい。お願いします。入学式の式辞らしくなくてすみません。

保護者の皆様 改めまして本日は本当におめでとうございます。今、74期生の皆さんに、挑戦する強さを持ってほしいと申しました。挑戦する強さを持つためには、失敗しても逃げ帰れる、心を癒せる、安心できる家庭、そして学校が必要だと思っております。私どもも努力致します、どうぞ、保護者の皆様も、これからも今まで同様、お子さんにとっての安全基地でいただけますようよろしくお願いいたします。

今年度、登美丘高校は創立100周年を迎え、11月には記念式典を挙行政致します。記念講演として、登美丘高校を全国区の知名度に押し上げてくれた本校卒業生の **akane** さんにお話しいただきます、そして東京パラリンピックで国歌独唱をされ、本校ダンス部と共に、東京2020にて全世界テーマ配信をされた盲目のシンガーソングライター佐藤ひらりさんのステージも予定しています。楽しみにして下さい。

そして何よりも、胸をはってその日を迎えられるように、「強いから優しい」登美高生になるように、新入生の皆さん、ともに優しく、そして挑戦していきましょう。本日はおめでとうございました。

令和5年4月10日

大阪府立登美丘高等学校長 山本哲哉